

防災用、常用防災兼用 自家発電装置の設置実績

内発協の製品認証部の集計

内発協の製品認証部では、令和2年度（2020年度）の適合マーク使用枚数＝**発電装置の設置実績**＝を集計し、このほど発表しました。それによると、令和2年（2020年）4月1日から令和3年（2021年）3月31日にかけて、防災用自家発電装置、常用防災兼用自家発電装置（＝兼用機）にそれぞれ貼付された適合マークの使用枚数に関して、メーカーから報告を受けた製品認証部が設置実績として取りまとめたもの。

集計の結果、防災用自家発電装置に関する設置実績は、台数ベースで合計6,803台（前年度比4.5%減少）。容量（出力）ベースで合計97万6,416.9kW（前年度比14.0%減）でした。一方、常用防災兼用自家発電装置に関する設置実績は、台数ベースで合計6台（前年度比60.0%減）。容量（出力）ベースで合計3,800kW（前年度比74.4%減）でした。

防災用はディーゼル6,609台、ガス^{エンジン}176台等

メーカー別・出力区分のクラス別

令和2年度の「防災用自家発電装置」の設置台数をメーカー別にみると、1位はヤンマーエネルギーシステム3,123台。2位は東京電機1,312台。3位はニシハツ1,221台。4位はデンヨー353台。5位は三菱電機125台という順でした。デンヨー分とニシハツ分を合算したデンヨーグループとしての設置実績の合計台数は、実質的に2位となる1,574台となっています。

設置容量（出力）のメーカー別は、1位はヤンマーエネルギーシステム30万7,888.9kW。2位は東京電機12万2,665.4kW。3位は川崎重工業11万3,900.0kW。4位はニシハツ10万6,418.6kW。5位は三菱電機6万7,603.6kWという順でした。

設置台数での上位メーカーの内、前年度実績に比べて設置台数が最も大幅に増加したのは三菱重工エンジンシステム1,350%増でした。次いで、富士電機70.6%増という順でした。

発電装置の容量（出力）を4つの出力区分に分けたクラス別の設置台数をみると、特徴として、最も小さいクラスである「Sクラス（100kW以下）」は最も多い設置実績をあげており、設置台数ベースで「シェア67.3%」獲得という結果でした。クラス別の設置台数の内訳は▼Sクラス（100kW以下）=4,579台（前年度実績4,757台）▼Mクラス（100kW超500kW以下）=1,955台（前年度実績1,932台）▼Lクラス（500kW超1,000kW以下）=168台（前年度実績166台）▼Uクラス（1,000kW超）=101台（前年度実績150台）という結果でした。

原動機の種類別

「防災用自家発電装置」に搭載された原動機の種類別にみると、ディーゼル機関を搭載したものは最も多い6,609台（前年度実績6,766台）でした。

一方、ガスタービンを搭載したものは176台（前年度実績231台）。

ガス機関を搭載したものは18台（前年度実績8台）という搭載実績でした。

設置先の都道府県別

「防災用自家発電装置」が設置された都道府県別にみると、1位は東京都621台。2位は大阪府391台。3位は北海道376台。4位は千葉県362台。5位は愛知県322台という設置実績でした。

前年度実績に比べて設置台数が最も大幅に増加したのは山形県58.5%増でした。次いで、高知県47.4%増。長崎県36.5%増という順でした。

導入先の施設種類別

「防災用自家発電装置」が導入された施設種類別にみると、1位は各項以外の事業場2,890台でした。2位は福祉施設等1,061台。3位は工場・作業場舗546台。4位は百貨店・店舗443台。5位は病院等369台という導入実績でした。各項以外の事業場とは、代表的なものとして一般のビル、ポンプ場及び浄水場等、水道施設、消防署等、官庁舎、銀行、ダム等の施設があります。

兼用機はガス機関4台、ディーゼル2台

メーカー別・出力区分のクラス別

令和2年度の「常用防災兼用自家発電装置（＝兼用機）」の設置台数をメーカー別にみると、ヤンマーエネルギーシステム4台。日立製作所1台。三菱重工エンジン&ターボチャージャ1台。合計6台の設置実績がありました。クラス別の設置台数の内訳は▼Mクラス（100kW超500kW以下）＝2台（前年度実績4台）▼Lクラス（500kW超1,000kW以下）＝4台（前年度実績1台）という結果でした。

原動機の種類別

「常用防災兼用自家発電装置」に搭載された原動機の種類別にみると、合計6台の内、ディーゼル機関を搭載したものは2台。

一方、ガス機関を搭載したものは4台という搭載実績でした。

設置先の都道府県別

「常用防災兼用自家発電装置」が設置された都道府県別にみると、北から順に北海道2台。宮城県1台。石川県1台。愛知県2台という設置実績でした。

導入先の施設種類別

「防災用自家発電装置」が導入された施設種類別にみると、合計6台の内、百貨店・店舗2台。病院等2台。各項以外の事業場2台という導入実績でした。各項以外の事業場とは、代表的なものとして一般のビル、ポンプ場及び浄水場等、水道施設、消防署等、官庁舎、銀行、ダム等の施設があります。